



伊達政宗没後三百年祭記念絵ハガキに見る空襲前の瑞鳳殿のすがた 昭和10年(1935) 仙台市博物館蔵

# 古写真や絵画で見る 仙台歴史散策

## 瑞鳳殿の遺品

仙台市博物館 学芸員 黒田 風花

### 第5回

#### 伊達政宗、死す

寛永十三年(一六三六)五月二十四日、仙台藩初代藩主・伊達政宗が没しました。享年七十歳。江戸の仙台藩上屋敷での病死でした。遺体はその日のうちに江戸から送り出され、六月三日に仙台覚範寺に到着。翌四日、経ヶ峰の墓室に埋葬されました。埋葬地として経ヶ峰が選ばれたのは、死の前月に政宗自らが杖で地面を指し示しながら、葬られるのにふさわしい場所だ、と語ったためと伝えられています。葬礼は、六月二十三日に執り行われました。法名は貞山禅利大居士。菩提寺は瑞巖寺です。以降、政宗の命日には、藩主に

よる瑞巖寺への参詣や木像の奉納、瑞鳳殿への刀の奉獻などの追善供養がおこなわれています。

#### 伊達政宗の霊廟・瑞鳳殿

政宗の没後、仙台藩二代藩主となった息子伊達忠宗によって、政宗の墓室の上に霊廟が造営されます。寛永十四年(一六三七)に落成したその霊廟こそが、瑞鳳殿です。瑞鳳殿は桃山時代の建築様式を残した江戸時代初期の代表的な霊廟建築のひとつとされ、昭和六年(一九三一)に国宝に指定されました。しかし同二十年、戦災によって建物は失われてしまいました。

現在、経ヶ峰の地にある瑞鳳殿の建物は、昭和五十四年に再建されたものです。オイルショックなどが影響し、厳しい再建計画となりましたが、創建当初の姿を目指し、金箔や岩絵具の極彩色で飾られたきらびやかな建物ができあがりました。

#### 瑞鳳殿発掘資料

瑞鳳殿の再建にともない、地下構造の調査のために墓室の発掘がおこなわれ、政宗の遺骨とともに、多数の埋

葬品が出土しました。瑞鳳殿発掘資料と総称されるこれらの埋葬品は、制作年代の下限がわかる貴重な資料で、仙台市指定文化財になっています。地中で長い年月を経ていたため損傷はありますが、保存処理が施され、現在は仙台市博物館に収蔵されています。

仙台市博物館では、瑞鳳殿発掘資料を、季節ごとに展示品を入れ替えながら紹介しています。煙管や硯、墨など、政宗が日常愛用していたと考えられる品々や、金の蒔絵で飾られた梨地桐葉紋糸巻太刀拵などの武器・武具もあります。また、ヨーロッパ製とみられる金製ブローチは、政宗の南蛮好きをうかがわせる調度品です。仙台市博物館の常設展で、ぜひご覧ください。



仙台市指定文化財 瑞鳳殿発掘資料のうち 左：金製ブローチ 右：梨地桐葉紋糸巻太刀拵 仙台市博物館蔵

※本稿で紹介した瑞鳳殿発掘資料は、仙台市博物館常設展で六月二十三日(日)まで展示しています。その後の展示予定は、六月二十五日(火)以降にお問い合わせください。



特別展

# 猫展

6月9日(日)まで大好評開催中!

猫は昔から日本人が深く親しんできた動物です。本展では江戸時代に巻き起こった「猫ブーム」の様子を、歌川国芳の浮世絵や、絵入り本、土人形などを通して紹介します。

【観覧料】一般・大学生1,300円、高校生700円、小・中学生 500円  
※10名以上の団体当日料金から各100円引き。このほか各種割引があります。  
【開館時間】9:00~16:45(入館は16:15まで)  
【会期中の休館日】毎週月曜日(5/6は開館)、5/7(火)



【左から】五拾三次之内 岡崎の場(部分) 歌川国芳、艶姿十六女仙 豊干禅師(部分) 歌川国芳、常滑焼 大入台乗り招き猫、小猫をあつめ大猫とする 歌川芳藤(すべて個人蔵)

仙台市博物館 TEL:022-225-3074 ▶5月の休館日 毎週月曜日(6日は開館)、5月7日

SENDAI CITY MUSEUM 〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡) ▶ツイッター @sendai\_shihaku ▶博物館HP

仙台市博物館

検索